



君津圏域 地域リハ広域支援センターの活動について

Kimitsu Chuo Hospital

地域をつなぐ
支援の輪



君津地域リハビリテーション
広域支援センター

君津圏域ってどんなところ？

◆木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市の4市から構成される圏域



人口	32万4720人
高齢化率 (65歳以上)	29.8%
高齢者人口 (65歳以上)	9万6911人
後期高齢者人口 (75歳以上)	4万8446人
生産年齢人口 (15～39歳)	7万9130人
生産年齢人口 (40～64歳)	10万5042人

君津圏域のちば地域リハ・パートナーの紹介

- ◆袖ヶ浦さつき台病院
- ◆介護老人保健施設わかかさ
- ◆玄々堂君津病院
- ◆身体障害者リハビリセンターあくていぶ
- ◆特別養護老人ホーム上総園
- ◆榎本整形外科
- ◆木更津真心生楽館
- ◆サンライズトレーニングデイ
- ◆すまいるリハビリサービス
- ◆訪問リハビリAdjust

全10施設

木更津/5施設 君津/3施設 富津/1施設 袖ヶ浦/1施設
 病院/3施設 (うち回復期病院/1施設) 老健/1施設 特養/1施設
 通所・訪問事業所/4施設 介護付老人ホーム/1施設

ちば地域リハ・パートナーと取り組んでいること

- ◆地域リハ・パートナー会議 年2回 オンライン開催
- ◆地域リハ・パートナー研修会
- ◆地域ケア会議における助言者への人材協力
- ◆介護予防教室等の介護予防事業への講師協力



君津地域リハ広域支援センターの取り組み紹介

つながりづくり

地域リハ連絡協議会

行政、医療、福祉等の18団体を参集した会議の実施

地域リハ行政意見交換会

圏域内4市の高齢者担当課とお互いの活動や地域課題に関する意見交換を実施

地域リハ・パートナー会議

広域支援センター事業に関する相談や今後の地域リハの取り組みについての会議を実施



講演会・研修会の開催

きみフェス！！

目的：地域住民の健康増進
 内容：医師などの講演、健康チェック
 例年100名以上の方にご参加頂いている
 ※コロナ渦中は生活不活発病に関する医師・
 コメディカルのコラムを記載した冊子の発行
 やオンラインでの講演会を開催



地域リハ・パートナー研修会

地域リハの普及やリハ・パートナーのスキルアップ、リハ・パートナー登録施設の増加を目的に年1回研修会を実施

地域課題に応じた活動

小児連携の会 コアラの会

当圏域は小児リハ資源が少ないため、意見交換会等を通じ顔の見える関係づくりに取り組んでいる。小児施設の所在を明確化することを目的に4市の小児施設をマッピングした冊子を作成しホームページにてダウンロードできる環境を整えた



発達お助けナビ
こちらから
ご覧いただけます

地域診断事業

国勢調査等の統計データや各市の課題や取り組みを照らし合わせ、圏域の特徴や課題を抽出。今年度から広域支援センター事業に反映し、課題解決に向け取り組む予定

相談・支援

施設向け出張研修

リハ専門職の在籍していない施設や団体の職員向けの研修を開催



市町村事業への協力

- ・地域ケア会議への人員派遣幹旋
- ・介護予防教室の講師派遣幹旋

災害リハビリテーションに関する取り組み

DVT予防啓発や有事の際の情報ネットワークの確認・準備、有事の際の避難所支援や情報共有、復興支援としてできることを時期に分けて整理し、マニュアル化できるよう現在情報収集を実施中

その他の取り組み

小学校出前講座

小学生を対象に、車椅子体験や失語症体験、福祉用具体験など体験授業や、リハビリテーションの仕事や種類などの授業を実施



君津圏域の課題

疾患・疾病の特徴

- ・生活習慣に関する特徴として、高血圧/肥満/糖尿病が多い
- ・疾患特性として、脳血管/心疾患/筋骨格疾患を有する要介護者が多い
- ・基本チェックリストの結果から運動器/口腔/認知機能低下の要介護者が多い

地域リハの視点での課題

- ・支え手が少なく、需要に対し人材を供給できていない
- ・情報共有が不十分でお互いのことを知らず取り組みも知らない
- ・情報/繋がり不足(地域資源の把握不足)

取り組む中で大事にしていること

✓地域に根差した活動

✓他団体との連携

- ・情報の収集(地域特性やニーズの把握)
- ・情報の共有(広域が得た情報や得たい情報を他団体と共有)
- ・課題の協議および共有(他団体と問題意識の共有)
- ・課題の解決方法の協議(他団体と協力して課題解決を目指す)
- ・他圏域の広域支援センターと連携し、活動を参考にする

わたしたちの課題や悩みランキング

第1位 臨床業務と広域支援センター活動の両立

業務時間内は臨床業務との兼ね合いで活動することが難しく、業務時間外の準備時間や活動が多くなり両立することの難しさを感じている

第2位 人材不足(企画・運営・事業協力)

広域担当者6名で、事業の企画のための会議を毎月行い、準備を分担し、運営も全て広域担当者で担っているが、マンパワー不足を感じる。また外部からの依頼についても、協力者の手上げは少なく、広域担当者が担うケースが多いため全体的に人材不足を感じる

第3位 公立病院という特性上の制約

予算管理や事務決裁などの事務的な面で制約も多く、事業を行う上で予算申請や決裁手続きに時間を要したり、やりたい事業ができないことがある。外部からの依頼において謝礼等は受け取れないため、活動費が持ち出しとなることも多く、全体で実施できる事業も限られてしまう

当広域支援センターは・・・

- ✓ 事業の企画から運営の大部分を広域担当者が行っている
- ✓ 地域の課題の把握や課題に対する活動に偏りが出てしまう
- ✓ 他団体連携を図っているが、人材不足は払拭できていない

～地域課題への対応には、連携と人材確保が必要不可欠～
いい解決方法があれば是非ご教授願います！！

君津地域リハ広域支援センターのホームページのご案内

当圏域の広域支援センター活動の紹介や過去の実績、事業の中で作成したパンフレットなどを掲載しております。こちらのQRコードから当院ホームページ内の広域支援センターのホームページがご覧いただけます。ぜひご覧ください。

